

Dr.寺沢流

救急診療の極意

自信がわき出る人気講義録

序文にかえて _____ 寺沢秀一

第1講義 外傷総論 10

～バイク事故・意識レベルJCS100, まずどこから診る?～

1. まずバイタルサインを理解しよう 10
バイタルサインは6つ
2. 頭蓋内損傷を見抜く 12
鍵は脳幹が握っている / Talk & Deteriorate—現在, 意識はいいけれど…
/ 受傷初期の画像—「小さな出血」に要注意! / 泥酔—夜中の患者にぶつ
ちぎれない
3. ショックを見抜く 23
ショックのパターンを押さえよう / 出血のスピードをふまえて戦う / 出
血性ショック—胸, 腹, 骨盤と考える / 骨盤骨折の戦い方 / 肋骨骨折—
3つをセットで考える
4. 最初の事例をどうみるか? 33

Column ◆スーパーローテーションのいいところ 14 ◆みんなで渡れば怖くない!?
21 ◆ドラマに必ず入れたい「緊張性気胸」 32

第2講義 多発外傷入門 (林 寛之) 38

～3人に1人をさらに救える戦い方, 教えます～

1. PTLSの流れ 38
3人に1人は助かっていた事実 / 外傷治療の流れ / 外傷治療のABC /
患者さんの受け入れ
2. Primary Survey 43
第一印象をチェック / A(C): 気道(頸椎保護) / B: 呼吸—TAFな3X
/ C: 循環—MAPを探せ / D: 神経—実際には手を出さない / E: 脱
衣—暖めるのも忘れずに

3. 蘇生処置	54
C (循環) の処置 / 出血性ショックとの戦い方 / 評価—最初の輸液で戦略を決める / NG チューブ (経鼻胃管) / 尿道カテーテル / 覚えておこう / Primary Survey のまとめ	
4. Secondary Survey	62
見逃しがないようにする	
5. シミュレーション—交通事故のケガ人が来た!	67
Primary Survey & 蘇生処置をやってみよう / まとめ	

Column ◆鼻水と髄液はどう見分ける? 60

第3講義 ショック その1 76

~「これだけでいい」分類と、パターンで攻める
出血性・心原性ショック~

1. ショックの攻略法	76
シンプルに理解する / 典型例は絶対に覚える	
2. ショックの基本を理解する	77
ショックとはどんな状態か / ショックの分類—寺沢流	
3. Hypovolemic Shock	80
分類と原疾患は要チェック / 体の中で起こっていること—血が足りない! / 病気による出血—バックグラウンドが超重要 / 早期診断・早期治療—下痢ぎみに要注意 / 外傷による出血—体内の出血を見逃さない / 外傷でショックの人には輸液を	
4. Hypovolemic Shock の治療	89
昇圧薬と利尿薬に気をつけて!	
5. 心原性ショック	91
分類と原疾患 / 体の中で起こっていること—静脈圧は高く、肺はうっ血 / 道具いらずで心原性ショックを見抜く / 緊張性気胸 / 心タンポナーデ / 肺塞栓	

Column ◆体の中でも体の外 82 ◆エコーは日本が一番 85 ◆放射線科の先生が救急で活躍! 89 ◆肺動脈楔入圧の測定は難しい 93 ◆ハイテク医療に頼りすぎると 96 ◆肺塞栓が予防できるのに行われていないこと 102

第4講義**ショック その2**

110

～血液量が変わらないショックもとっても大事～

1. 血液の分布が異常になるショック 110
2. 敗血症性ショック 110
 温かいショックと冷たいショック / 敗血症性ショックを見抜く / 原因不明のショックを見たら / 体の中で起こっていること—Warm ShockとCold Shock
3. アナフィラキシーショック 113
 現場で重くのしかかるショック / ハチに刺された / 蕎麦を食べた / 見逃しやすくして危険な症状 / 治療のポイント—分単位で動く / アナフィラキシーショック対応のピットフォール
4. 神経原性ショック 122
 頸髄損傷+血圧↓+脈↓=神経原性ショック / どこでも見かけるVVRには要注意 / VVRは事前に見抜いて対応する / ショックの特徴はポイントで覚えよう / 神経原性ショックの治療—輸液はちょっと控えめに / 神経原性ショックのパターン事例
5. ショックのまとめ 130

Column ◆ WheezingとStridorの違いがわかる医者に 117 ◆ 喘鳴の正しい発音は？ 121 ◆ 勘違いしてVVR 127

第5講義**中毒 その1**

136

～ハズせない—酸化炭素中毒と、ダマされやすい
 血中酸素量～

1. 一酸化炭素中毒を見抜く 136
 車の排気ガス+昏睡=一酸化炭素中毒 / 本当の血中濃度を知る / どうしてガス分析器にだまされるのか / パルスオキシメーターにも要注意 / 一酸化炭素中毒の確定診断はとても難しい / 一酸化炭素中毒を疑う状況で、積極的に疑う / 最初の症例をもう一度見てみよう / 一酸化炭素中毒を疑ったらやっってはいけないこと
2. 一酸化炭素中毒の治療 145
 まずは酸素を！ / 高気圧酸素療法という手段 / 酸素はケチらない / 遅れてやってくる一酸化炭素中毒 / 一酸化炭素中毒を考えない場合

Column ◆ 痛い思いも1回だけ 139 ◆ 食中毒なんてありえない状況 145

第6講義 中毒 その2 154

～患者さんへの対応と、忘れてほしくない中毒を具体的に～

1. 中毒総論—服毒した患者さんへの対応 …………… 154
 情報は大切、だけどあまり信用できない / 子どもが間違えて飲んじゃった / 中毒患者さんへの対応 / 胃洗浄で気をつけること / 活性炭—中毒の治療にもっとも有効 / その他の治療法 / 事例を確認—国家試験問題より
2. 中毒各論—重要な中毒を具体的に …………… 164
 中毒の拮抗薬 / 有機リン中毒 / パラコートは絶対忘れるな！ / 農薬を飲んだ患者さんが来たら / タバコを食べた
3. ちょっと脱線—酸素投与が問題になる場合 …………… 178
 過換気症候群—出会ったときあわてないために

Column ◆患者さんの体位 161 ◆非常に怖いBody Packer 162

第7講義 熱中症 186

～コーラ色の尿に命の危険を感じよう～

1. 熱中症を正しく知る …………… 186
 発熱と高体温は違うもの / マラソン大会の途中で倒れた—正しく知らないと起こる悲劇
2. 熱中症について整理しよう …………… 188
 熱中症は3種類 / 熱射病を忘れずに
3. 熱中症の症状と治療法 …………… 189
 熱痙攣—水分はOK、でも塩が足りない / 熱疲労—水も塩も不十分 / 急性運動性横紋筋融解症 / 熱射病—古典的 or 運動性 / こんな基礎疾患と薬剤に注意 / 熱射病の治療—体温を下げればいいのだけれど… / 事例で要点を確認しよう
4. 熱中症の診断 …………… 201
 坐剤は使わない / 直腸温を測る / 尿に注意

Column ◆寒いからこそ熱中症？ 190

第8講義

低体温・溺水

206

～治療だけじゃすまない低体温と、助かるチャンスを
逃さない溺水～

1. 低体温を見抜く 206
患者さんのパターンを把握 / 低体温のバイタルサイン / 普通の体温計は信用できない? / 低体温症の特徴 / 倒れた原因の検索を忘れずに / 低体温になると何が起こるか / 低体温の心電図 / 低体温の治療—寺沢流 / 低体温治療のガイドライン / 最後にもう一度：低体温の理由も探そう
2. 溺水—救える患者さんを見逃さない 221
乾性溺水を救え / 子どもの低体温溺水は特別

Column ◆行って帰るほど違う心房細動と心室細動 212 ◆心房細動の脈は不規則に不規則 215

課外授業

災害トリアージに挑戦!

(林 寛之) 232

1. MISSION—大震災が来た、さあトリアージ! 232
2. トリアージとは 236
トリアージの流れ / 1 回目のトリアージ—START 法 (歩呼爪手) を覚えよう / 災害救急処置—限られた物資でできること
3. MISSION の解答 & 解説 242

索引 246

Dr. 寺沢の ココだけの話

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| No.1 問題児は変わらない!? 35 | No.9 日本の医者だから英語は
いらない? 151 |
| No.2 飛行機の中で手をあげられる
医者 36 | No.10 寺沢流! 研修先の選び方 152 |
| No.3 教育の楽しみ 72 | No.11 アメリカの救急医が見せる技 183 |
| No.4 見た目はやっぱり大事だよ 74 | No.12 見逃しやすい例に気をつけよう 184 |
| No.5 血と涙のER 立ち上げ 106 | No.13 ご家族はもう 1 人の患者さん 204 |
| No.6 タバコを吸う人お断り 109 | No.14 どんな患者さんもまず
許すことから 228 |
| No.7 “総合内科医”を育てよう! 132 | No.15 医者である前に 1 人の人間です 230 |
| No.8 ER が受け入れられた日 135 | |